

平成22年度 地域活性化事業交付金 交付決定事業実績 【横山地区】

平成23年3月31日現在

団体名	事業等の名称	事業の実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
		事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
横山地区自治会連 合会	横山地区まちづくり広 報発行事業	まちづくり会議での議論の内容や、地区 区内で活動する各種団体の活動情報 などを盛り込んだ「横山地区まちづく り広報紙」を発行する。	・横山地区まちづくり情報紙-「まちづ くりYOKOYAMA」発行に関する打ち合 わせ会議を4回開催した。 ・「まちづくりYOKOYAMA」2月1日、3 月1日、4月1日号の3回発行した。	・横山地区のまちづくり全般に関する 情報を取りまとめ、全戸配布をするこ とにより、広く地区住民に、現在、横 山地区でどのような取り組みが進め られているのか(まちづくり会議など) について知らせることができた。 ・これまで地区住民にあまり馴染みの なかった団体等の情報を掲載するこ とができ、今後の団体-住民間のお 互いの理解につながった。	・地区のまちづくり情報を、どのように 地区住民に周知していくか、一つの 大きな課題と考えていた。地域におけ る活動の担い手を増やしていく上で、 地区内で何が行われているのかを 知っていただく必要があると思ってい た。自信を持って、これで十分とは言 えないが、ひとつのきっかけになった と思っている。来年度についても、継 続して発行していきたいと考えてい る。	H22.9.28	150,000
横山地区防犯・防災 啓発事業推進委員 会	横山地区防犯・防災啓 発事業	災害や犯罪に対する日頃の備えを確認 することで、地区住民の身の安全 を確保し、安全で安心して生活できる 地域づくりに貢献する。	・地区内の自治会、PTA、子ども会、 ボランティア団体と、防犯活動に関す る情報交換を行った。 ・各団体へ、防犯啓発物品(防犯ス テッカー、パトロール看板)の作成、配 布した。 ・避難所や防犯上の危険箇所等を示 した防災マップの作成、配布した。	・日頃より防犯活動を実施している各 団体と情報交換をすることにより、お 互いの横の連携を取ることができ、こ のことが、各団体がより効果的な活動 を進める一助となった。 ・防犯啓発物品を配布し、活用してい ただくことで、これまで以上に防犯意 識の高揚を図ることができた。 ・防犯防災マップの作成、配布によ り、地区住民にあまり知られていな かった、一時避難場所や避難所など の場所を知ってもらうことができた。	・地区住民の防犯や防災に対する日 頃の意識を高めることができたので はないかと考えている。 ・本事業で作成した啓発物品を使い 防犯パトロールを実施している方々を 見かけることができたので、これも一 つの成果であった。 ・今年度、地区で実施した防災訓練 時に避難場所について話題となっ た。避難場所を知らない住民も多かっ たため、防犯・防災マップについては ニーズに合ったものを作成できたと思 っている。	H22.10.5	525,000
榎囃子連育成会	囃子保存・指導者育成 事業	◆伝統文化の継承 ◆若い世代の指導者育成	・次世代を担う子どもたちへの「ふるさ と」づくりとしてお囃子を始めたが、高 齢化、少子化等により子どもの参加 が減少し、存続の危機となっていた。 本事業では、次世代への伝統継承の ため、高校生・大学生等を指導者とし て育成することに着手した。指導者に なる意識を強く持たせたことや、講師 を招いて技術を習得したり、お囃子の 歴史等の勉強会も実施し、存続の危 機回避へ一歩前進できた。	・指導者用衣装購入により、指導者に なる意識が芽生え、研修会や練習に 積極的に参加するようになった。(た だ、太鼓や獅子舞を演じるだけでなく、 伝統を伝える者である自覚を植え 付けられた。) ・笛の演奏ができるようになった子ど もがいた。 ・小学生が指導者用衣装を見て、自 分も頑張っって続け、いつかは衣装を 着たいと思うようになり、励みになっ た。	・後継予定者を育成できたこと。又、 役員の意識も変わって、研修会等実 施したりする様になった。 お囃子指導、地域の伝統を伝えると 言ってくれた子が6人にもなった。 ・笛を2年やっても吹けずやる気をなく していた子が、今回こういう機会を 与えていただき、笛の指導してもらえ けるようになったことは、大変な成果 で、今後に希望が持てます。	H22.11.16	403,000
男性ボランティア ゼロツウ/テン	高齢者見守りパトロー ル	◆地域の一人暮らし高齢者等を含 め、地域住民が安全で安心できる地 域をつくる。	・ボランティア活動に高齢者等の見守 り/パトロール事業の取り組みを目的と した「先進取組地区の視察研修」を実 施した。その実施に向け、先進取組 地区への下見調査を踏まえての参加 募集チラシの作成・配布、チラシを活 用した呼びかけをし、28名の参加者 が集まった。 ・視察後の見守り活動の受け入れ体 制づくりを目的とした活動も実施し た。	・各団体や個人が視察研修に参加し た結果、横山地区における高齢者等 の見守り活動に対する取組み機運が 高まり、地域の活性化につなげるこ とができた。 ・高齢者等を地域ぐるみで支援してい くためには、行政・各関係団体・ボラ ンティア団体の協力や役割分担と拠点 づくりが重要であること、また活動の 地道な継続が基本ということを学ぶこ とができた。	・視察研修の企画や事前調査、チラ シの作成などに取り組み、多くの参加 者を集めることができたこと、また、こ の取り組みを通して新たに活動に賛 同する方を見つけたことができた。こ のことは、今後の活動の自信につな がると考えている。	H22.11.17	494,000

